



一般社団法人未来に輝く企業づくり研究会

MiraQ LETTER

VOL.

01

2025.04

Introduction

MiraQがいよいよ始動…！！

今月、いよいよMiraQの活動がスタートしました！まずは2025年4月17日（木）に定例研究会を開催。

今回は、現地20名、オンライン13名の方にご参加いただきました。

4月のテーマは「企業発展のために」。企業経営を“人”から考えるMiraQならではの視点で活発なディスカッションが行われました。



Discussion①

あなたの会社の
存在価値は何ですか？

今回のディスカッションでは、単なる方法論ではなく、認識論や存在論の視点から会社の価値について深く考える機会となりました。

「会社の存在価値とは何か？」という問いに対し、「あまり意識したことがなかった」「創業者の想いはどこまで社員に伝わっているのか」「そもそも経営理念は浸透しているのか」といった多様な意見が交わされました。

【参加者の意見】

「利益を追求するだけではなく、社会に貢献する理念を持つことが重要だと気づいた」Tさん、「経営者それぞれの想いや考えが、最終的にはお客様や関わる人々のためになっていることを改めて実感した」Oさん、「会社のあり方について考える貴重な機会となり、まだ答えは見えないが、模索しながら今後も向き合っていきたい」Jさん、といった感想が寄せられました。

ちなみに、この定例研究会で大切なことは「難しい」という言葉を使わないこと。「難しい」と言った時点で思考が停止するのでやめましょう！ということですが、とはいえ、つい口にしてしまうものですよね。ですが、これからも挑戦し続けることが、新たな気づきや発展につながるのではないのでしょうか。

Discussion②

社会課題の視点から

どのようにビジネスを発展できそうですか？

2つめのテーマは「社会課題の視点からビジネスをどう発展させるか？」。企業は顧客ニーズに応えるだけでなく、社会の課題にどう向き合うかが問われます。

特に重要なのは、企業自身が社会課題に気づき、それを深く考え、自社でできる取り組みを模索・展開していくことです。この視点を持つことで、ビジネスの可能性は広がっていくでしょう。異業種の参加者が集まったことで、議論はより具体的になりました。

「未来の顧客を考えなければ事業の発展は難しい」「後追いでは価格競争に巻き込まれる」といった現実的な声も上がりました。社会課題を起点に考えることで、新たな事業の可能性が感じられる場となりました。

【参加者の意見】

「異業種でも社会課題の視点があれば協業できる」Yさん、「思っている以上に課題は多い」Kさん、「同じ『環境』課題でも対応が異なる。だからこそ多様な会社に関わることで解決が可能になる」Hさん、などの気づきの声が多数ありました。

社会課題は常に変化し続け、なくなることはありません。だからこそ、そこには常にビジネスチャンスが存在します。その可能性に気づき、行動できるのは、日頃からアンテナを張っている人だけです。今回のディスカッションは、社会課題をビジネスの観点で捉え、未来の事業を創造するヒントとなる機会でした。この視点を持ち続け、社会に貢献するビジネスを築いていきましょう。

次回案内

【テーマ】「経営者の責任」

【日時】2025年5月15日（木）16:00～18:00

【会場】エル・おおさか 南72 もしくは オンライン

今回のテーマ「経営者の責任」と聞くと、会社の社長や役員など、ごく一部の人の話だと思う方もいるかもしれませんが、でも、私たちはみな、自分自身の人生を選択しながら生きている。つまり“人生の経営者”とも言えます。経営者以外の方でもかなり学びのある回となっております。

初めての方も、経営者ではない方もぜひお気軽にご参加ください！

そしてお知り合いの方をご紹介いただけると幸いです。

